

沼尾シェッドに「道路メンテナンス技術集団」を派遣
～「全国初」橋梁以外の道路施設で直轄診断を実施～

道路の老朽化対策に関しては、多くの施設を管理している地方公共団体に対して、財政面、技術面等でこれまで以上の支援が求められています。

そこで、国土交通省では、地方公共団体への支援策の一つとして、点検等に際して緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い施設について、昨年度より直轄診断※を実施しています。

東北地方整備局では、福島県下郷町管理の沼尾シェッドにおいて、下記のとおり道路メンテナンス技術集団による直轄診断の現地作業を開始しますので、お知らせします。

■日 時：平成27年10月23日（金）13：00～

■場 所：沼尾シェッド（延長189m）
福島県南会津郡下郷町大字小沼崎字上ハ平

■当日の流れ：

13：00～13：20（予定）下郷町役場にて診断方法等の説明等
道路メンテナンス技術集団：

東北地方整備局 道路部 道路保全企画官 大村 敦 他

13：40～14：40（予定）現地（沼尾シェッド）にて直轄診断
作業内容：高所作業車等を用いた近接目視による調査

15：20～15：40（予定）下郷町役場にて下郷町長へ当日の作業報告

〔添付資料〕

直轄診断（※）・・・・・・・・・・・・・・・・・・【別紙1】

沼尾シェッドの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・【別紙2】

町道沼尾線（沼尾シェッド）の路線の位置づけ・・・・・・【別紙3】

《発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、郡山記者クラブ
会津若松市記者クラブ》

<問い合わせ先>

○：主な問い合わせ先

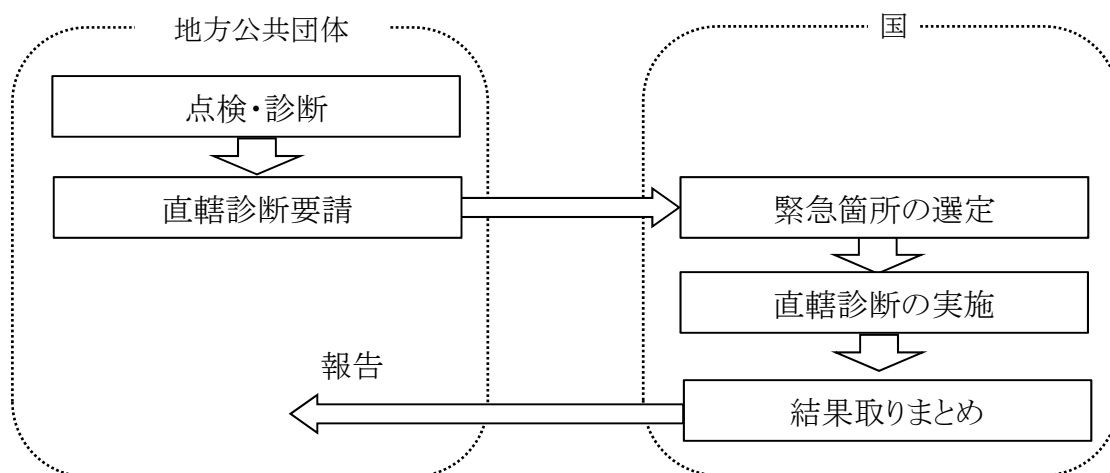
国土交通省 東北地方整備局 TEL022-225-2171(代表)
○ 道路部 道路保全企画官 大村 敦 (内線4121)
郡山国道事務所 TEL024-946-0333(代表)
副所長 舟山 義広(内線205)

【※直轄診断】

「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの(複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等)に限り、国が地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

また、直轄診断の成果については、データの蓄積、研修等により東北地方整備局職員の技術力向上に活用していく。

【全体の流れ】



沼尾シェットの概要

【別紙2】

【起点側】

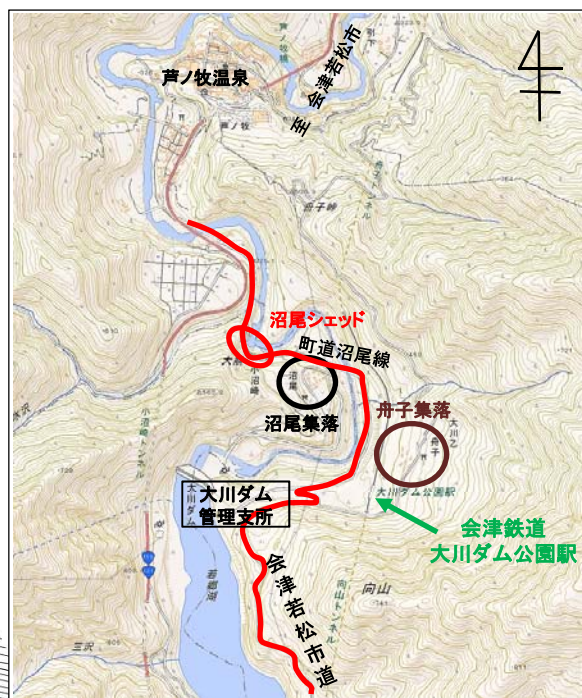


【終点側】



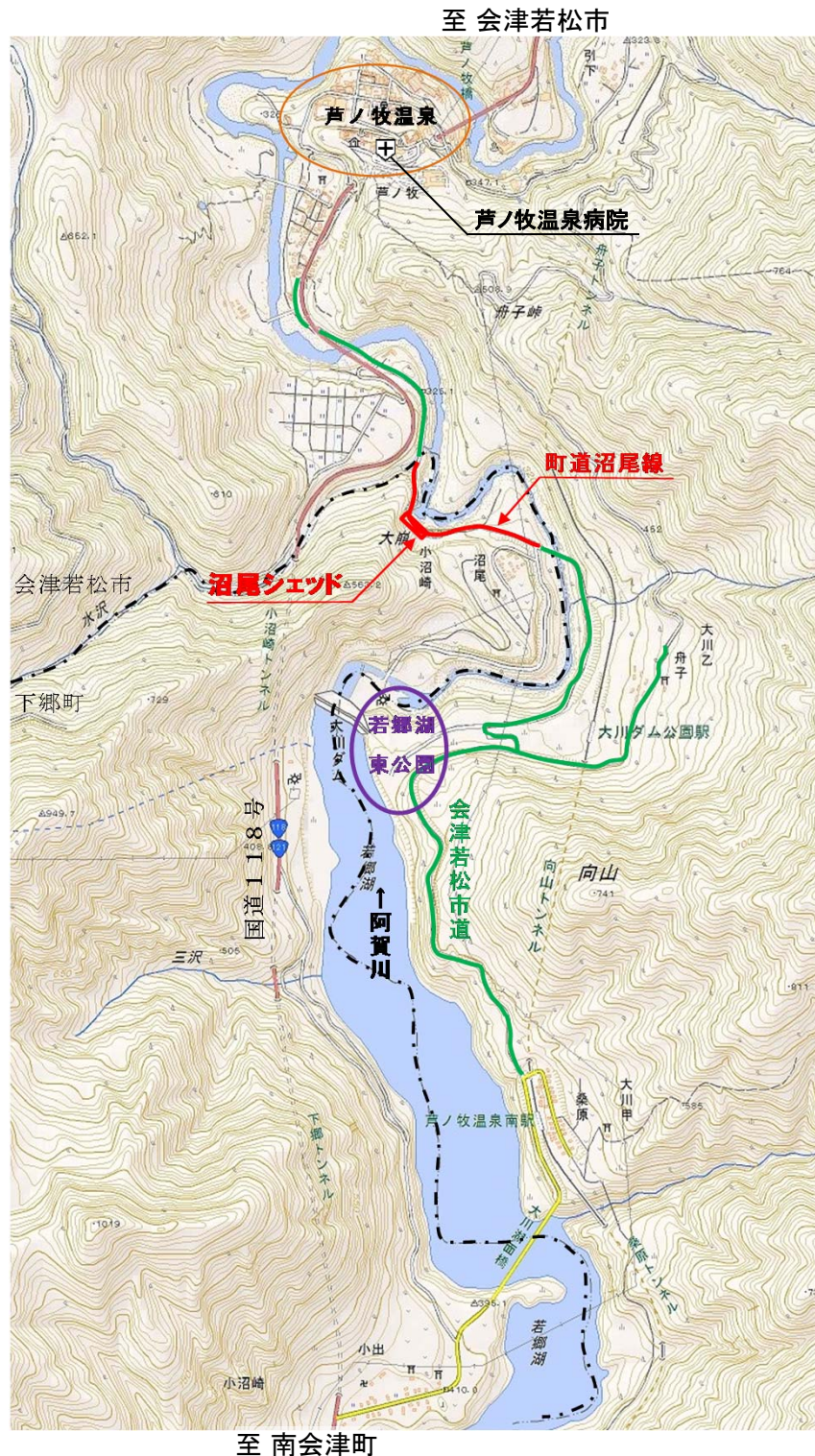
当該箇所

位置図



昭和33年頃建設
延長 L=189m 幅員 W=4m

位置図



- ◆町道沼尾線は、国道118号と下郷町沼尾地区と会津若松市舟子地区や桑原地区を結ぶ主要な道路。最寄りの芦ノ牧温泉病院への救急搬送など地域の安全・安心に欠かせない路線。
- ◆沼尾シェッドは、昭和33年頃に福島県が建設、大川ダム建設に伴う付替国道の完成時に町に引き渡しされた延長189mのシェッド。
- ◆シェッド内には東北電力の配電線(6, 600V)が占用され、近接している芦ノ牧温泉(宿泊施設数11件、年間観光客28万人)をはじめ、会津若松市南部(約700世帯)へ電気を供給している。
- ◆芦ノ牧温泉病院(病床数120、医師職員78名)がある。
- ◆シェッドには、大川ダムの光ケーブルが添架されている。